

施策評価管理シート

2015(平成27)年7月作成

担当部局名	部長名	連絡先 (担当室名)
伊賀南部環境衛生組合事務局	濱田 謙治	53-1120 (業務室)

施策体系	政 策	2	美しい自然に包まれた、憩いと潤いのある暮らし
	基本施策	2	循環型社会の創造
	施 策	3	廃棄物処理

1. 施策の基本方針

Plan

- ・資源循環型社会の構築を目指して、環境に配慮した安全かつ適正な廃棄物の処理を推進します。

2. 目標

○重点目標

Plan

- ・一般廃棄物処理施設の適正な運転管理及び維持管理に努め、周辺環境への影響を抑制するなど、安心安全で衛生的な施設運営を図ります。
- ・一般廃棄物の排出状況に応じた効率的・適正な収集体制の編成を行うとともに、適正な排出及び資源化、減量化を推進します。
- ・浄化センターの適正な運転管理及び維持管理に努めるとともに、最大6年間の操業延長の間に、今後のし尿処理のあり方について生活環境部とともに検討します。
- ・今年度末で、地元との協定期限を迎える中継所について、円滑に閉鎖できるよう努めます。

○目標達成に向けた課題

Plan

- ・クリーンセンターは、操業開始後7年目を迎え、本年度内において遅滞なく施設の大規模修繕を実施していきます。
- ・廃棄物の資源化を推進するため、啓発、分別のための人員体制を整備する必要があります。

<行政評価委員会からの意見>

意見なし

○施策指標（目標）及び達成状況

Plan

Do

施策指標（目標）の内容 (単位)		現状値 (H20)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	進捗率
市内で発生する廃棄物が適正に処理されていると感じている市民の割合 (%)	目標	-	-	72.0	-		74.0	
	成果	69.4	77.9	80.5	82.9	81.5		100%
ごみの減量化・再資源化に対する認識が高まったと感じたリサイクルプラザ利用者の割合 (%)	目標	-	-	78.0	-		83.0	
	成果	73.1	80.2	80.6	80.6	80.6		76%

3. 取組内容

○課題解決への取組内容

Do

- ・クリーンセンターは、年次的な点検・補修計画を立て、重点的に補修を実施しました。
- ・業務推進職員を任命し、ごみの分別、適正排出の啓発、指導を行いました。
- ・浄化センターの操業延長について、地元地域との協議を重ね、平成12年の協定締結時の地域振興策の残事業等の推進について説明し、操業延長の必要性について理解を求めました。

<行政評価委員会からの意見に対する取組内容>

意見なし

○地域等との連携、協働に向けた取組

Do

- ・補助金要綱を制定し、紙、繊維類の資源ごみの地域での自主回収の推進に努めました。
- ・地域の環境委員等と協力して、ごみの分別、適正排出啓発、指導を実施しました。

4. 施策達成のための事務事業及び評価

(合計 1 事業)

Do**Check**

事務事業シート番号	事業名・担当室名	事業費 (単位：千円)		担当室による評価			部局による評価	
		2013 (H25)	2014 (H26)	事務事業の施策への貢献	地域づくり組織等との連携・協働	事務事業シートでの今後の方向	施策達成への貢献度	施策達成への重要度
7011	伊賀南部環境衛生組合一般会計 総務室	1,630,074	1,840,197	A	実践している	継続（現行）	B	B
合計（単位：千円）		1,630,074	1,840,197					
小計（うち、一般会計分）		0	0					
小計（うち、特別会計・企業会計・組合会計分）		1,630,074	1,840,197					

5. 部局による施策評価

Check

評価
事業推進の一部改善
成果・評価理由
・ 市民や委託業者と協働して、安全かつ適正に廃棄物の収集を行うとともに、周辺環境に配慮しながら各施設を概ね適正に運転管理することができました。 ・ 浄化センターの操業延長について、地元との協議の結果、最大6年間の延長に係る協定を新たに締結することができました。

6. 今後の施策の方向性、改善方法

Action

・ クリーンセンターの運転に関し、周辺地区の環境に影響を及ぼさないように適正管理に努めるとともに、排ガス等の測定結果について、引き続き公表していきます。 ・ 焼却施設への負荷軽減も期待できる小型家電等の資源の分別回収を引き続き推進します。 ・ ごみ収集業務については、民間委託の推進により効率化を図ります。
